

3年「社会福祉基礎」 理学療法講座

令和4年5月27日

福祉は
「幸せ」という
意味。

※理学療法は、いわゆる
「リハビリ」のこと。

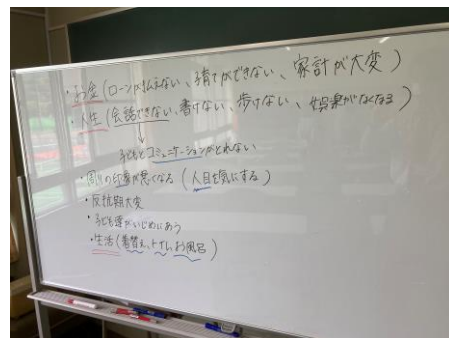
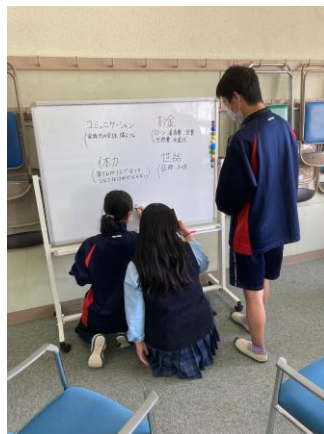
生きることが大切。
その上で、誰だって、外の新鮮な空気を吸いたいし、
生きがいをもって暮らしたい。

生徒の声

リハビリに係る仕事として、理学療法士、作業療法士があることは知っていましたが、言語系の仕事もあることを初めて知りました。リハビリでは、手術を終えた方に寄り添って回復を支援するだけでなく、その他にも多くの支援方法があることもはじめて知りました。将来看護師を目指してる中、スライドだけではなく動画でもリハビリについてみせて頂けてとても勉強になりました。

リハビリには色々な方法があって、患者の病気にあった方法のいくつかを知ることができたので良かったです。病院以外のところでも私たちにもできることがあると思うので、そういう人を見かけたらお手伝いをしていきたいと思います。

< 架空の患者のケースに適した支援方法を考える >



今回は社会福祉についてよく分かりました。今の日本や世界の様々な地域で行われているシステムなど、知らないことを学ぶ機会でした！また、社会福祉は「幸せ」という意味があると聞き、「この教科の初回の授業でも言っていたな。」と思い出しながら話を聞いていました。グループワークでは、他の人と意見交換ができて良かったです。今は周りに体が不自由な方はいませんが、もし、そういう状況になったら、今回学んだことを生かしたいと思います。

私は今日の授業で、理学療法士の他に、言語聴覚士や作業療法士などの仕事があることをはじめて知りました。障害の程度や種類は人それぞれなので、その患者さんに適したリハビリを行うことはとても難しいものだと強く感じました。

<支援を考える際には生活環境も考慮に入れる>

